

2020 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2020年4月1日から2021年3月31日)

本事業年度の各事業は、2020年3月開催の理事会、評議員会において承認された2020事業年度事業計画に基づきほぼ計画通り実施しました。ただしコロナウイルス感染の影響のため、臨時理事会、評議員会に諮って、「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」を中止しました。

2020年

- 4月14日 ・第27回理事会（書面）開催
- 4月22日 ・第17回評議員会（書面）開催
- 4月24日 ・会計監査完了

- 5月21日 ・2019事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表、マザック高度生産システム優秀論文賞表彰」を実施
- ・2018事業年度 研究助成の研究成果報告書冊子配布
- 22日 ・2019事業年度 助成金払込み完

- 6月 2日 ・第28回通常理事会（書面）開催
- 6月17日 ・第18回定時評議員会を書面にて開催
- 22日 ・内閣府へ定期提出書類（事業報告）提出
- 24日 ・法務局へ評議員登記完了

- 9月 1日 ・2020事業年度 研究助成,国際会議助成,論文表彰募集開始

- 10月29日 ・第29回通常理事会をオンラインにて開催

- 11月30日 ・研究助成申請 37件
 論文表彰申請 30件
 国際会議助成申請 4件 で締め切る

2021年

- 2月16日 ・審査委員会開催
 研究助成 21件
 優秀論文表彰 19件
 国際会議助成 3件 選定し推薦

- 3月16日 ・第30回理事会（書面）開催
- 25日 ・第19回評議員会（書面）開催
- 26日 ・内閣府へ定期提出書類（事業計画・収支予算）提出

2. 前年度（2019 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 19 件のうちの下記 19 件について研究成果の報告を受け、小冊子にまとめました。（2020 年 4 月現在 所属先）

大阪大学	山村 和也	Effects of ultrasonic vibration on slurryless electrochemical mechanical polishing of 4H-SiC (0001) surface
神戸大学	西田 勇	大量生産と同等の効率で一品生産を実現する CAM システムの開発
東京農工大学	笹原 弘之	ホワイトココナッツオイルを原料にした切削油剤へのファインバブル導入による難削材加工性能の評価
工学院大学	武沢 英樹	回転軸付与ワイヤ放電加工における多軸複合加工の高精度化
広島大学	山田 啓司	Precise Identification of Principal Stress Directions Induced in Laser Cleaving Process
京都大学	Beaucamp Anthony	電気音響支援ナノ研磨材ブラスト
名古屋工業大学	岩崎 誠	人協働ロボットの安全と高速高精度を両立する運動制御の開発研究
岡山大学	大西 孝	円筒プランジ研削における寸法生成量の推定手法の開発
岡山大学	藤原 貴典	研削液の腐敗防止技術の開発に関する研究
長崎大学	大坪 樹	小径ドリル加工における工具摩耗状態のインプロセス監視システム
島根大学	李 樹庭	トロコイド減速機の伝達精度とねじり剛性の理論解析と実験検証
芝浦工業大学	澤 武一	表面波の伝播速度を用いた超砥粒ホイール砥粒層の弾性係数導出に関する研究
産業技術総合研究所	加藤 進	レーザー溶接における純銅のレーザー吸収モデル
横浜国立大学	淵脇 大海	未来の精密機械工場のフレキシブル化・軽量化につながる XYθ 精密自走ロボットの位置決め精度向上と速度向上
電気通信大学	森重 功一	可操作度を考慮したロボットプログラムの生成（シーリング作業への適用）
秋田大学	奥山 栄樹	軸の回転精度測定のための三点法の広帯域化に関する研究
大阪大学	森永 英二	生産システムのフレキシブル運用に向けたデータ駆動型生産スケジューリング法の開発
名城大学	宇佐美初彦	軟質金属の成膜による鋳鉄の表面改質技術開発
富山県立大学	寺島 修	機械振動低減と振動エネルギー回収を両立するスマートマテリアル利用機械振動制御デバイスの開発

3. 2020 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第4条(1)に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

本事業年度は、研究助成応募37件、国際会議助成応募4件であり、いずれも2021年2月16日の審査委員会にて選考を行い、3月16日の理事会にて承認を得て、研究助成21件、国際会議助成3件を決定しました。

※助成実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 2020 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第4条(2)に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

本事業年度は、応募件数は30件で、2021年2月16日の審査委員会にて選考を行い、3月16日の理事会にて承認を得て、優秀論文特別賞が1件と、18件の優秀論文賞を選定しました。

※助成実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。